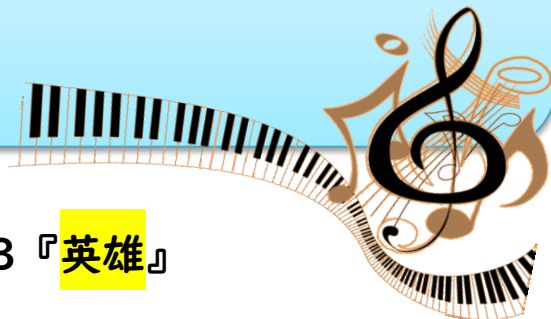


## 【第3学年 音楽科】

音楽の教科書 p.66 (Music View II) も参考にしながら、以下の言葉をインターネット等で検索し、『ピアノの詩人』と呼ばれる、ショパンの<sup>せんりつ</sup>旋律を聴いてみよう♪♪♪



### ♪ ポロネーズ 第6番 変イ長調 op.53 『英雄』

- ポロネーズはフランス語で『ポーランド風』の意味。ショパンの<sup>そこく</sup>祖国、ポーランドの民族舞踊（貴族向け）。<sup>はな</sup>華やかで<sup>そうだい</sup>壮大な<sup>せんりつ</sup>旋律。

### ♪ エチュード 第12番 ハ短調 Op.10-12 『革命』

- ショパンの<sup>そこく</sup>祖国であるポーランドが、帝政ロシアに権力で押さえつけられていた時期に作曲された。その時ショパンが感じた、激しい感情が曲に込められている。

### ♪ マズルカ 第5番 変ロ長調 Op.7-1

- ショパンの<sup>そこく</sup>祖国、ポーランドの<sup>みんぞくぶよう</sup>民族舞踊（<sup>しよみんてき</sup>庶民的）。ショパンはマズルカを40曲以上も作曲した。

### ♪ ノクターン 第2番 変ホ長調 Op.9-2

- 浅田真央選手のショートプログラムでも使用された曲。ノクターンは<sup>やそうきょく</sup>夜想曲（夜を想いながらゆったりと弾く楽曲）と訳される。ショパンのノクターンは全21曲。ゆったり落ち着いたテンポと美しいメロディが特徴。

### ♪ ワルツ 第6番 変ニ長調 Op.64-1 『子犬のワルツ』

- 3拍子の軽やかなテンポの曲。子犬が自分のしっぽを追いかけてグルグル回る様子をピアノで表現したといわれる。